

### CONTENTS

- 2 遊んで学ぶ自然教室 親子エコくらぶ  
「ビーチクリーン&マリンクラフト」
- 4 県政フラッシュ
- 特集1
- 6 健康診断・がん検診のすすめ
- 特集2
- 8 障がいのある方と一緒に働こう
- 特集3
- 10 かわいいと思う気持ちを最後まで
- 12 守りたい自然 ~おきなわの彩鳥(いろどり)~  
セツカ
- 14 仕事の現場ウォッチング  
技術系のシゴト(自動車整備士)
- 16 県のうごき1  
下水道への接続のススメ
- 17 県のうごき2  
かけがいのないあなたへ ひとりでなやまないで!
- 18 情報ひろば お知らせ
- 20 輝け! わした島の未来「沖縄元気プロジェクト」  
石垣市

### 沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみならずにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課  
TEL.098-866-2020  
http://www.pref.okinawa.jp/churahome/



### 沖縄の海を みんなで守ろう!

瀬長島での「ビーチクリーン&マリンクラフト」に参加したのは、普天間葉音ちゃん(四歳)親子。沖縄の日差しはまだまだ強いので、帽子とタオル、飲み水は必ず準備しておきます。ビーチには、ガラス片や注射針など危ないゴミが落ちていたりすることもあるので、注意が必要です。ゴミを拾うときは必ず軍手やゴミばさみなどを活用しましょう。



ゴミを拾いながら、さまざまな生物を発見!



工作大好きな葉音ちゃん。作業中は、真剣そのもの

最初はグルーガンの扱いがぎこちなかった葉音ちゃんですが、貝殻をひとつずつしっかりとくっつけて、フォトフレームの周りを貝殻とサンゴで飾っていきました。「すごく可愛いね」「素敵なフォトフレームになったね」とも上手にできて、お母さんと先生も褒めてくれました。ビーチもキレイになり、海の香りがいっぱい詰まった素敵なフォトフレームが完成し、満面の笑みを浮かべた二人でした。

### 「フォトフレーム」を作ろう!

- ◇用意するもの◇  
貝殻やサンゴ、ゴミ袋、軍手、フォトフレーム、グルーガン(瞬間接着剤でも可)

1 ビーチで材料となる貝殻やサンゴなどを拾う。一緒にゴミも拾うと環境に優しいよ。

2 貝殻やサンゴを水で洗って砂を落とす。フォトフレームに仮置きし、レイアウトを決める。

3 グルーガンで接着剤をつけて貝殻をフォトフレームにくっつける。グルーガンは熱いので要注意!

4 素敵なフォトフレームが完成!



「ゴミを捨てない、ゴミは持ち帰る」を守って、沖縄のキレイな海を守っていきましょう!

準備が整ったら出発! ビーチにはたくさんゴミがあるはず...と予想していたのに、思ったほどゴミがありませんでした。瀬長島は普段からボランティアの方々が掃除をしているので、このキレイな砂浜が守られています。それでも、ドリンクの空き缶やビニール袋などが所々に落ちていました。「大物発見!」と角田先生。食べ終わって

身近にある地元の素材を使って昔ながらの遊びに挑戦する「うちなな流エコ」。お日様や風を感じて、親子で一緒に遊びながら沖縄の豊かな自然を再発見してみよう!

準備が整ったら出発! ビーチにはたくさんゴミがあるはず...と予想していたのに、思ったほどゴミがありませんでした。瀬長島は普段からボランティアの方々が掃除をしているので、このキレイな砂浜が守られています。それでも、ドリンクの空き缶やビニール袋などが所々に落ちていました。「大物発見!」と角田先生。食べ終わって

たスイカの皮でした。「重い」と言いながら、葉音ちゃんがゴミばさみで掴んでゴミ袋へ入れます。先生が用意してくれたこのゴミ袋は、古くなって食べられなくなった古々米から作られ、燃やしても環境に優しいすぐれものです。ゴミ拾いにすっかり夢中の葉音ちゃん。マリンクラフトの材料になる貝殻やサンゴを拾うのも忘れないうちにね。



身近にある地元の素材を使って昔ながらの遊びに挑戦する「うちなな流エコ」。お日様や風を感じて、親子で一緒に遊びながら沖縄の豊かな自然を再発見してみよう!

### 9月イベント★「ビーチクリーン&マリンクラフト」

監修/NPO法人沖縄ホールアース研究所



こんなにたくさんのゴミを拾いました

今月の先生  
地球と地域を元気にするNPO法人  
「沖縄ホールアース研究所」  
角田 周一さん

岐阜県出身。山・海・空・街など地球上のあらゆるフィールドを舞台に、自然体験活動による環境教育を展開。その普及や人材育成を行って自然環境の保全に努め、持続可能な社会づくりを目指す。  
URL: https://blog.canpan.info/okinawa-wens

海の香りが漂うフォトフレーム  
拾った貝殻やサンゴで、フォトフレームづくりにチャレンジ! まずは割れた貝殻を分け、使える材料を選びます。次に、フォトフレームに貝殻やサンゴをどのようにならぬかを決めます。フレームをタテ、ヨコどちらにするのか、貝殻を重ねたり、サンゴの向きを変えてみたりと自分の好きなようにいろいろ試してみましょ。葉音ちゃんはサンゴの内側が表になるように置いていたので、お母さんは「貝殻のキレイな模様を上にしなさいと、みんな同じになっちゃうよ」とアドバイス。レイアウトが決まったら、接着剤を熱で溶かしてつけるグルーガンという道具で貝殻などをフレームにくっつけます。グルーガンはスイッチ以外の場所は熱いので、絶対に触らないように注意します。また、溶けたばかりの接着剤も熱いので要注意です。

撮影協力: 瀬長島物産センター